企業を育て
地域を伸ばす
商工会議所

函館商工会議所ニュース

発行所
函館市若松町15番7—61号
電話代表(0138)23—1181
函館商工会議所
編集発行人　高間勉

国連大学を本道へ

候補地・道南が適当

本所関係機関に呼びかけ

かねてから大学誘致運動を手がけてきた本会議所がこんどは国連大学の誘致運動を積極的に推し進めることになった。

この運動をとのように展開しようか検討してみようと四月十四日、その初会合が本所で開かれた。会合には松坂市企画課長、金沢七飯町助役、村田善一函大教授、高木函館ユネスコ協会副会長らのほか川尻、小笠原両道議も加わった。

まず田中会頭から中央における本運動の経緯と趣旨について説明があったあと、これからの運動方法を検討した。その結果、国内で誘致運動のトップを切った本道こそ他府県の運動を抑えて主導権を握るべきが当然であるとの発言があり、そのためには①道に働きかける一方、全道市長会や議長会にも呼びかけて決議を取りつける②これと併行して地元としては函館圏行政連絡協議会とを中心に道南誘致に向け情攻勢をかけるなどの方針を申し合わせた。

国連大学の本道誘致に成功した場合は、当然道内の各建設業種と親密なるこ

大学誘致運動がかりでるのであるが、他都市にはない、この種の運動ならべるに熱意と積極性、そして何よりもねばりに欠けるのが、いつもバスに乗る。いつも見すかしを食いに乗り遅れるのは、最大の理由であると言われている。

これは、善意に解すれば何年も前から努力してきたし、今も努力しているが、如何せん、私一人の力ではどうしようもないことを心から遺憾に思っている。

函館市には、国立大学設立期成会も一応結成され、熱勢も整い多くの市民の協力と支援を得ています。

地元業者利用を

青函両市から陳情団

工事請負業者の決定にともなう地元業者利用問題は、もはや青函トンネル工事といわれる青函トンネル工事の開始も近く、関係業界の動きが、ようやく活発となってきたが、この大工事につながる貴材の調達や付帯工事に地元の業者が利用されるかどうかは、地域の振興上重大なる影響を及ぼすことは明らかであり、二月下旬に青森市で開催された青函経済圏開発促進協議会で

として地元選出の三国会議員と全道議会議員に文書を送り本運動への協力を要請した。

なお本会議所は第一段階として地元選出の三国会議員と全道議会議員に文書を送り本運動への協力を要請した。

青森側—奈良岡市長、三上市議会議長、武田商工会議所副会頭、坂下業者代表ほか）が大挙して上京、四月五日運輸省、日本鉄道建設公団、熊谷組、鹿島建設、間組、大成建設、前田建設工業、鉄建建設の本州側、北海道側両グループの本社をそれぞれ訪問、陳情書を手渡して地元業者の利用方について協力を要請した。

庁舎新築など要望

田中会頭は四月十七日、市役所に矢野市長、西村市議会議長らを訪問し市庁舎の新築促進と現在、市長が在任中の函館観光協会長の役職を諸般の事情からなるべく早い機会に民間人に委譲されるよう要望書を提出した。

報告書漸く完成

商業近代化地域計画

昨年、函館市が中小企業庁から「モデル商業都市」に指定されて以来、一年半の歳月をかけて作業を進めていました。

本所の「商業近代化地域計画」の報告書が三月末ようやく函館地域部会（会長—矢野市長、西村市議会議長、辻、田中商工会議所会頭、辻、藪下、津村業者代表ほか、青森側—奈良岡市長、三上市議会議長、武田商工会議所副会頭、坂下業者代表ほか）が大挙して上京、四月五日運輸省、日本鉄道建設公団、熊谷組、鹿島建設、間組、大成建設、前田建設工業、鉄建建設の本州側、北海道側両グループの本社をそれぞれ訪問、陳情書を手渡して地元業者の利用方について協力を要請した。

この結果、二函館側—矢の役職を諸般の事情からなるべく早い機会に民間人に委譲されるよう要望書を提出した。

雑草地帯

70年代の函館は、黎明期を迎えようとしている。それとも夜のとばりが下りようとしているのか、はては白夜のような状態のまま推移しようとするのか、誰にも予言はできない▼先進・後進都市などというあり難くない異名をもっている函館市は、いま自ぎつつ老残の境涯に入ったのであろうか。近い将来、青函トンネル、北海道新幹線の開通により函館市の歴史は必然的にその流れを方向転換するであろう。否応なしに函館には転換期の波が、ひたひたと押し迫っているのである。新時代への対応策をいま模索中というのが偽りない函館の今日の姿といえる▼三月には〃人口半減ショック〃で全市が騒いだ函館の人口が十二万人に減ってしまう、とは、さる大学のセンセイのご託宣である。これを逆手のショック療法はないものか。それで〃斜陽症〃が癒った、もっけの幸いというもの。

このところ、函館に大手のレジャー資本が相次いで観光開発に進出してきていることは、地元でも歓迎気味の明るい材料である。観光開発については、本所の委員会でも調査研究を進めており、現に観光開発プロジェクト・チームの発足を関係諸部門に呼びかけている。函館圏内の豊富な観光資源を再開発し、近代化計画書の編成を開始しようということである。

私の思い、新提案とは、函館国際大学の設立を期して誘致運動を早急に始めようということである。

私もやぶ、おっとり、函館国際大学の設立を期して誘致運動を早急に始めようということである。

私もやぶ、おっとり、函館国際大学の設立を期して誘致運動を早急に始めようということである。

厄介なことは、函館市の市民の意見を問うことである。

国連大学誘致運動は、昨年春の発足以来、文相らと懇談の席上で話合われてからクローズアップされ、五月にはユネスコ国内委員会作成の我が国の構想が国連事務総長ならびにユネスコ事務局長に送達され、ユネスコ事務局の候補地として我が国が世界各国の中で日本が最も有力であるとの認定を受けたことは、大変ありがたいことであるが、ことしの秋にはユネスコ、国連の関係委員会で大学設立問題が討議され、十二月の国連総会で検討される予定と聞いている。設置国に決ってからの誘致運動を進めて行かなければならない。

国連大学問題は、昨年春の第三部の主要点だけを参考のため挙げてみます。

（47・4・10）

47年度収支予算ほかを承認

通常議員総会

本会議所第3回通常議員総会は三月二十九日、ホテル函館ロイヤルで第8回常議員会に引き続いて開催された。

事務局からの一般報告二十一件を了承のあと、審議に入り、協議事項①常議員の補充選挙について（沢博、堀田政治両議員を選任）②昭和四十七年度事業計画について（重点目標十項目はかの）③昭和四十七年度収支予算（七千五十万一千円）を検討の結果、いずれも原案どおり承認した。

私見

国連大学誘致を提唱

田中誠一郎

函館人特有の八オットリ型。

一経済人として、私は私なりに二、三の構想を持っている。

私は私が、いち早く昨年からこれが誘致に運動運動を進めて行く事を知っているであろう。

国連大学問題は、昨年春のウ・タント国連事務総長が来日の際、佐藤相をはじめ、文相、通産相、大蔵相、自民党幹事長、そして何よりもねばりに欠けるのが、いつもバスに乗る。いつも見すかしを食いに乗り遅れるのは、最大の理由であると言われている。

これは、善意に解すれば何年も前から努力してきたし、今も努力しているが、如何せん、私一人の力ではどうしようもないことを心から遺憾に思っている。

函館市には、国立大学設立期成会も一応結成され、熱勢も整い多くの市民の協力と支援を得ています。

さて、七〇年代の函館市は、重大な転換期に直面しており、立地的にも一大変容が必至とみられている。この転換期に対応した方策を手さぐりではなく、明確に打ち出すべきものと思う。

一応、これらの問題が協議された結果、今後は両市が協調一体となって請負業者に資材の地元調達、加工、機械類の修理、付帯工事などに地元業者をなるべく利用することを申し合わせた。

この結果、二函館、青森両市から議懇団（函館側—矢野市長、西村市議会議長、田中商工会議所会頭、辻、藪下、津村業者代表ほか、

地元業者利用を

青函両市から陳情団

工事請負業者の決定にともなう地元業者利用問題は、もはや青函トンネル工事といわれる青函トンネル工事の開始も近く、関係業界の動きが、ようやく活発となってきたが、この大工事につながる貴材の調達や付帯工事に地元の業者が利用されるかどうかは、地域の振興上重大なる影響を及ぼすことは明らかであり、二月下旬に青森市で開催された青函経済圏開発促進協議会で

として地元選出の三国会議員と全道議会議員に文書を送り本運動への協力を要請した。

なお本会議所は第一段階として地元選出の三国会議員と全道議会議員に文書を送り本運動への協力を要請した。

青森側—奈良岡市長、三上市議会議長、武田商工会議所副会頭、坂下業者代表ほか）が大挙して上京、四月五日運輸省、日本鉄道建設公団、熊谷組、鹿島建設、間組、大成建設、前田建設工業、鉄建建設の本州側、北海道側両グループの本社をそれぞれ訪問、陳情書を手渡して地元業者の利用方について協力を要請した。

この結果、二函館、青森両市から議懇団（函館側—矢野市長、西村市議会議長、田中商工会議所会頭、辻、藪下、津村業者代表ほか、

雑草地帯

70年代の函館は、黎明期を迎えようとしている。それとも夜のとばりが下りようとしているのか、はては白夜のような状態のまま推移しようとするのか、誰にも予言はできない▼先進・後進都市などというあり難くない異名をもっている函館市は、いま自ぎつつ老残の境涯に入ったのであろうか。近い将来、青函トンネル、北海道新幹線の開通により函館市の歴史は必然的にその流れを方向転換するであろう。否応なしに函館には転換期の波が、ひたひたと押し迫っているのである。新時代への対応策をいま模索中というのが偽りない函館の今日の姿といえる▼三月には〃人口半減ショック〃で全市が騒いだ函館の人口が十二万人に減ってしまう、とは、さる大学のセンセイのご託宣である。これを逆手のショック療法はないものか。それで〃斜陽症〃が癒った、もっけの幸いというもの。

このところ、函館に大手のレジャー資本が相次いで観光開発に進出してきていることは、地元でも歓迎気味の明るい材料である。観光開発については、本所の委員会でも調査研究を進めており、現に観光開発プロジェクト・チームの発足を関係諸部門に呼びかけている。函館圏内の豊富な観光資源を再開発し、近代化計画書の編成を開始しようということである。

私の思い、新提案とは、函館国際大学の設立を期して誘致運動を早急に始めようということである。

私もやぶ、おっとり、函館国際大学の設立を期して誘致運動を早急に始めようということである。

厄介なことは、函館市の市民の意見を問うことである。

国連大学問題は、昨年春の第三部の主要点だけを参考のため挙げてみます。

（47・4・10）

函館市主要小売物価

（2月15日現在）

函館商工会議所調査課

品目	単位	本月価格	指数（昭和40年=100）	前月比
総平均（202品目）			128.0	101.0
食料品（95品目）			129.8	100.0
穀類（5品目）			138.8	100.0
うるち米（配給）	1kg	151.00	137.1	
もち米（配給）	〃	210.00	157.3	
あずき	100g	35.00	103.9	
粉、粉製品（4品目）			129.9	100.0
小麦粉	1kg	80.00	120.3	
野菜（15品目）			90.5	95.7
甘しょ	1kg	90.00	129.0	112.5
ばれいしょ	〃	31.67	103.8	84.5
キャベツ	〃	25.00	53.4	
ほうれん草	〃	70.00	83.3	65.1
はくさい	〃	25.00	48.1	90.8
ねぎ	〃	66.67	58.7	95.1
大根	〃	21.67	54.4	86.8
玉ねぎ	〃	70.00	123.2	
にんじん	〃	41.67	50.9	92.5
きゅうり	〃	301.67	197.3	219.5
果物（10品目）			93.1	111.9
バナナ	1kg	130.00	41.3	92.8
冬夏みかん（紅玉）	〃	95.00	91.1	—
りんご（紅玉）	〃	115.00	135.0	115.0
鮮魚介（11品目）			176.7	96.0
まぐろじ	〃	140.00	167.1	81.1
あ	〃	—	—	—
ささ	〃	45.00	216.1	—
け（切り身）	〃	—	—	—
ん	〃	9.00	88.4	—
い	〃	—	—	—
乾物（5品目）		32.00	228.9	91.4
たちこ	100g	100.00	114.0	100.0
干のり	16枚10枚	250.00	96.7	
畜産食品（9品目）			108.8	
牛肉（ロース・中）	100g	220.00	151.7	99.5
ぶた肉（中）	〃	90.00	290.8	
鶏卵	〃	80.00	132.5	
調味料（9品目）			119.8	
しょう油（2ℓ）	1本	250.00	121.1	100.0
みそ	1kg	130.00	131.3	
砂糖	〃	150.00	134.2	
繊維品（28品目）			116.3	
繊維物（10品目）			147.1	104.4
ちりめん	1反	14,500	123.2	100.2
洋服類（8品目）			173.2	
男子背広服（冬物）	1着		183.1	103.1
男子背広服（合物）	〃	28,000	—	
男子ズボン（冬物）	1本	—	193.3	116.7
男子生徒服（上下）	1着	13,000	347.7	

商店街づくり

—私はこう考える—

岡本太郎

ディパートの商店街を歩くたびに、いつも何か空しい思いがする。商品があふれ、キラキラと華やか。一見豊かさを誇っているかのようだが……。

この空しさは誰でもが心のうちに感じていることではないか。ここに実はさきの今日の問題があるはずである。

独自な〝匂い〟ない商店街

全国どこへ行っても商店街は同じ顔つきだ。独自な匂いというものはほとんどない。その無性格、現代のような無機的な生産、流通システムのもとでは一応仕方がないのかもしれない。

しかし、それに商品の飾り方、店の作り、もっとひろく言えば、商店街の雰囲気そのものを変っていかなければならないと思う。

街は同じ顔つきだ。独自な匂いというものはほとんどない。その無性格、現代のような無機的な生産、流通システムのもとでは一応仕方がないのかもしれない。

しかし、それに商品の飾り方、店の作り、もっとひろく言えば、商店街の雰囲気そのものを変っていかなければならないと思う。

ある。今でも世界中に見られるが、昔ながらの市場、必要品を調達するというだけで安心している客が多い。

人間全体を包む生活様式の変化、商店街の問題は、そうした意味で、ものを売って儲けさえ解決されたらいいというのではない。

商人たちは、それを見て私たちの商売が成り立つと思っている。そうしてあれこれ、人間的にふくみ、互いに丁々ハッシと目の色を変えて踊っているのである。

大事な〝無償の雰囲気〟づくり

お客は必要なものが少しでも安く手に入ればいい、商人の方は一文でもと、おのおのが、いかに人間の全体性が失われていることに気づかない。

四角ばって沢山の商品をならべさえすればいいという商売の時代は、もはや本当に人々をひきつけるものは出来ない。それよりも無償の雰囲気を作り盛り上げることが大事だ。

商品を見せる、買わせるというストレートな目的だけでは、もはや本当に人々の心を動かすことは出来ない。

「商売」と「人間」との切りはなされている今日、これからの商売のあり方である。それには商売人も猛烈な芸術家・人間にならなければならない。

ことがこれからの商売の大事な課題である。

（画家）

商店街づくり

—私はこう考える—

岡本太郎

お客だけが相手だという、ふくみのない態度だ。恰好だけは恰好よくとっている。

この空しさは誰でもが心のうちに感じていることではないか。ここに実はさきの今日の問題があるはずである。

独自な〝匂い〟ない商店街

全国どこへ行っても商店街は同じ顔つきだ。独自な匂いというものはほとんどない。その無性格、現代のようなアッシュロン化してみせても伝統的商人根性の殻はぬぎきれていない。そこからこの空しさが出てくるのではないか。エコノミック・アニマルという呼び名の皮肉は、外部に対してばかりでなく、日本の内部においてもやはり痛烈に図星だ。

自分のほしいものを手に入れる、それはよろこびで、

ような驚き、喜びにわくわくするような感示を工夫すべきである。現代人は生活のあらゆる面で、目的的な欲望を満たされている。

その空しさが今日の商店街の雰囲気である。

しかし、そういうエコノミック・アニマルは現代の巨大な消費時代、情報化社会に、逆に適応しなくなってきていると思わなければならない。

よく見せて気どりさが今日の商店街の雰囲気である。

しかし、そういうエコノミック・アニマルは現代の巨大な消費時代、情報化社会に、逆に適応しなくなってきていると思わなければならない。

買う側も売る側も、単にもののやりとりでなく、ものに意味に生活感の全体をひろく、その新しい方式が求められているのだ。商品自体も、ものとしての価値よりも、それに伴う情報量、つまり人間的な満足感の方が、価値の大きな時代なのだ。

商品自体も、ものとしての価値よりも、それに伴う情報量、つまり人間的な満足感の方が、価値の大きな時代なのだ。

当然、商品のならべ方も、いやもっとひろく売るという場の構成自体が変わってこなければならない。

商品を見せる、買わせるというストレートな目的だけでは、もはや本当に人々の心を動かすことは出来ない。

それよりも無償の雰囲気を作り盛り上げることが大事だ。

空間を芸術的に構成

近頃、新しく出来る商店街や地下街など、変わった展示物や広場の構成、まったく言えることである。

そして、それは当然そのまま商店街全体におよぶ。

そこに集まる生活者のメリットとなるような、そういう無償のよろこびを打ち出した店が魅力なのだ。

そして、それは当然そのまま商店街全体におよぶ。

空間を芸術的に構成

近頃、新しく出来る商店街や地下街など、変わった展示物や広場の構成、まったく言えることである。

そして、それは当然そのまま商店街全体におよぶ。

そこに集まる生活者のメリットとなるような、そういう無償のよろこびを打ち出した店が魅力なのだ

続 欧州諸国を視て

高間 勉

先般の欧州六カ国の視察往時から住宅はアパート形式で、事務所も数階建ビルに多数の企業が同居しており、従って立派で大きいことは、思いつくままに述べてみた。

北欧の冬は夜明けがおそくて、七時を過ぎてもまだ薄暗く、最後に訪れたローマ以外は、日中でも青空が殆んど見られず、毎日どんよりとした お天気が続いた。生産性本部の駐在員の話では、北欧には春夏と秋冬の二つの季節しかなく、昔は、その永い冬を屋内で暮らし、そこからあの優れた文化や学問が生れ育ったものと言えるが、我国でも北海道や東北地方に、もっと立派な文化が発達してもよいはずだと言われて、頭をかかざるを得なかった。

最近世界各国で、都市再開発が盛んとなりつつあるようだが、我々はロンドン特別市の隣接地での新都市建設、パリー市開発の二町に跨る都市再開発、或は第二のローマ市の郊設の様様を実際に見てよくもこれだけ思い切った、大規模な再開発が出来るものだと感心させられた。

我々は、今日の様な日本の経済成長の時代に、住宅、商店街、病院、官庁、グラウンド、プール或はミュージックホール等の施設がかりなくなり、交通対策も充分検討してあるなど、見向立ち通りの状態にある我国の行政のあり方に、残念ながら雲泥の差がある。

専門化目立つ商店街

商店街について気のついたことは、全般的に商店が専門店化していること。飲食店、土産品店以外は、大体夕方六時から日時頃には閉店するが、日本と違って、ショーウィンドーは明るくきれいに商品を展示しており、夜の散歩に目を楽しませるようにしていて、いわゆるウインドーショッピングのための、ディスプレーウィンドーとも言うのであろうか。

欧州人の公徳心については、昔から色々聞いてはいたが、自分の目で見てはいなかったが、今度は、自動車の運転者のマナーも非常に立派で、交通信号機も比較的少なく、その新しい地区には、住宅、商店街のほか、学校、病院、官庁、グラウンド、プール或はミュージックホール等の施設がかりなくなり、交通対策も充分検討してあるなど、見向立ち通りの状態にある我国の行政のあり方に、残念ながら雲泥の差がある。

専門化目立つ商店街

商店街について気のついたことは、全般的に商店が専門店化していること。飲食店、土産品店以外は、大体夕方六時から日時頃には閉店するが、日本と違って、ショーウィンドーは明るくきれいに商品を展示しており、夜の散歩に目を楽しませるようにしていて、いわゆるウインドーショッピングのための、ディスプレーウィンドーとも言うのであろうか。

欧州人の公徳心については、昔から色々聞いてはいたが、自分の目で見てはいなかったが、今度は、自動車の運転者のマナーも非常に立派で、交通信号機も比較的少なく、その新しい地区には、住宅、商店街のほか、学校、病院、官庁、グラウンド、プール或はミュージックホール等の施設がかりなくなり、交通対策も充分検討してあるなど、見向立ち通りの状態にある我国の行政のあり方に、残念ながら雲泥の差がある。

あまり見かけぬテレビ

我々一行が、ロンドンに着いてから直ぐ話題になったことの一つは、テレビが見て見ぬ振りをしていることであった。ホテルのロビーは勿論、各部屋にもなく、間違いなくテレビがあるはずだと思い、ボーイに、大きな商店の店員などにも、どこにあるかと聞いたが、誰一人テレビを見たことがない、と言うのである。

しかも民放のテレビは、自粛の為か、ほとんどが放送局は、二、三局しかなく、一日の放送時間は、八〇%程度、イタリアのように、カラー放送をやっている国もあり、またイギリスでは、レンタルも相当ていて、自分の国だったらもう、ボタンを押して、ペットボトルを取り、ビールを飲みながら、ゆったりと、ベッドに横になって、ゆっくりと、テレビを見ることが、出来ないのは、残念だ、と思った。

何処でも聞かれる日本語

最後に、観光地の、ホテルの、ボーイ、大きな商店の店員などの中に、日本語のものがあったことは、ロンドンのユストミンスター寺院の寄進を求めるための説明書が、十数カ国語で印刷してあり、その中に、日本語のものもあったこと、ドイツ、ローマ、ベルリンの